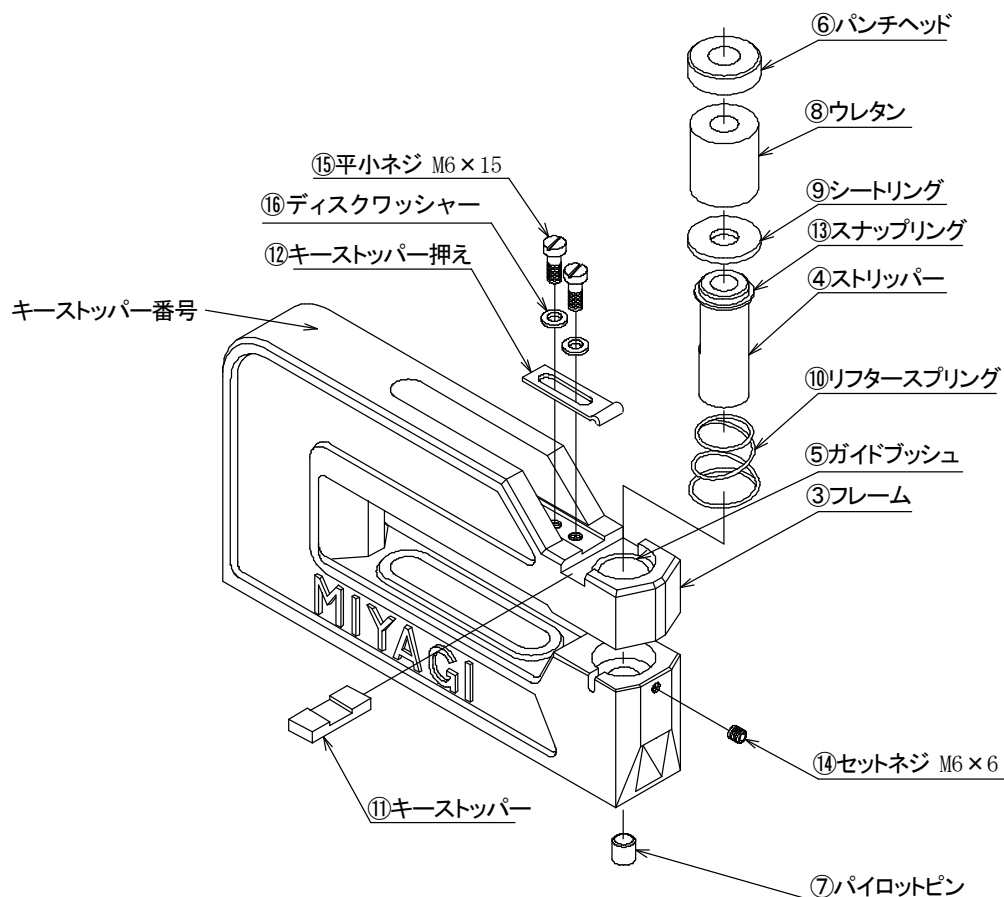


●構造および各部品名称

本製品は次の部品で構成されています。開梱時に欠品や誤送がないかを必ず確認してください。もし、欠品がありましたら、当社までご連絡ください。

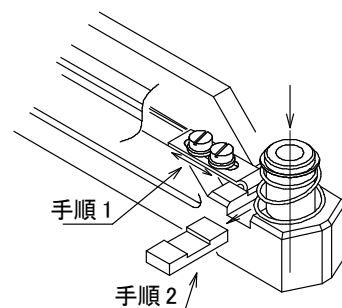
【注意】本体にはパンチおよびダイは含まれません。別途のご注文になります。



●パンチ・ダイの組付け手順

1. キーストッパーの外し方(図-1)

- 手順1** キーストッパー押えを止めている平小ねじ(M6×15)を緩めキーストッパー押えを後ろにずらします。
- 手順2** ストリッパーを下方に押し下げながらキーストッパーを手前に引き抜きます。



注意 手をばねに挟まらない様に注意して下さい。

図-1

これでパンチを組付ける準備ができました。

2. ダイの組付け方法(図-2)

⚠ 警告

ダイの穴径がパンチの刃先径より大きいことを確認して下さい。
これを守らないとプレス加工により、金型が破損しその破片により、重傷を負うおそれがあります。また甚だしい場合は死に至ることもあります。

手順1 フレーム前面にあるダイ取付け部のセットネジ(M6×6)を緩めます。

(セットネジは一部の機種では本体横にあります。)

手順2 ダイの切欠き部(ニコニコマーク)をフレームの前面(セットネジ方向)に合わせダイ取付け穴に挿入し、ダイの底面がダイ取付け穴の底面にしっかりついたことを確認し、セットねじを締め付けます。

(図-2)

※ダイをダイ取付け穴の底面迄しっかり入れるには、本体にセットされたストリッパーを上下させて押し込む方法も有効です。ただし、ダイは真っ直ぐにセットされていないとダイ取付け穴の壁を痛めることになりますので、十分注意して下さい。

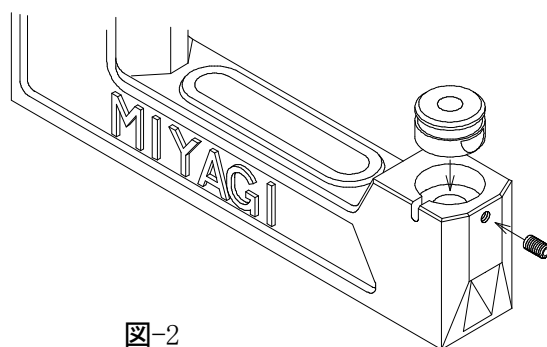
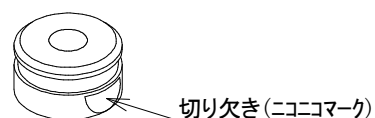


図-2



ダイ(丸穴)

※異形穴(丸穴以外)の場合(図-3)

異形穴の場合はダイに回り止めのピンがついております。

刃先の方向を確認し、回り止めピンをフレームのピン溝に合わせセットして下さい。

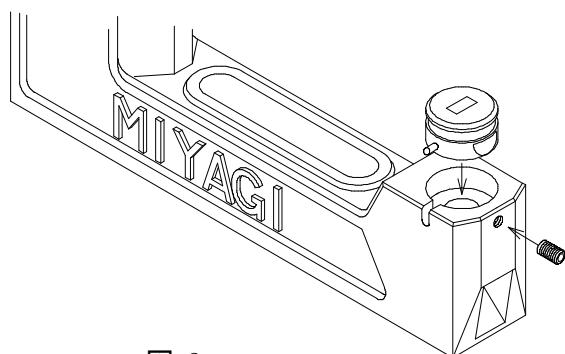


図-3



ダイ(異形穴)

3. パンチの組み付け方(図-4,図-5,図-6)

- 手順 1** 下図(図-4)のようにパンチ・パンチヘッド・ウレタン・シートリングを組み込みます。
- 手順 2** ストリッパーをリフタースプリングと一緒に本体より外し、手順1で組付けたものにセットします。
この時ストリッパーのキースライド面(切欠き部分)とパンチのキースライド面を合わせてください。(図-5)
- 手順 3** 組み上がった状態のものを、キースライド面をキーストッパーの方向に合わせフレームに取付ます。
- 手順 4** パンチの上面を押し下げようしながらキーストッパーを差し込み、キーストッパー押えを前にずらし、キーストッパーの上に乗るようにセットします。
この時、キーストッパーの幅の $3/4$ ぐらい乗るようにセットしてください。
- 手順 5** キーストッパー押えを平小ねじ(M6×15)で締め付け取付け完了です。(図-6)

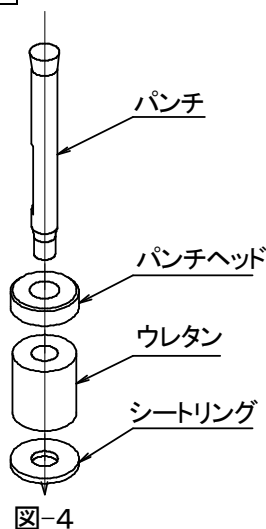


図-4

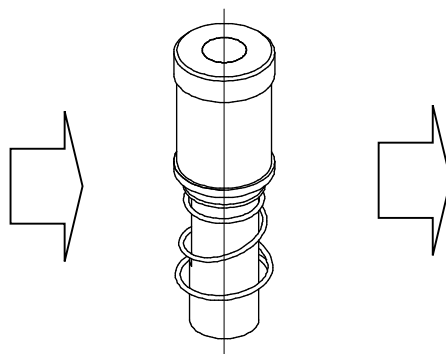


図-5

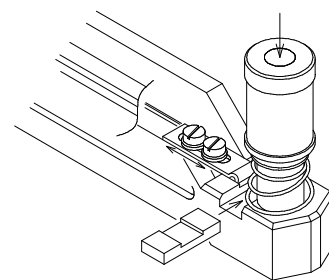


図-6

※ 異形穴(丸穴以外)の場合

⚠ 警告

異形穴(丸穴以外)の場合、ダイとパンチの刃先方向が一致することを確認して、パンチのキースライド面をキーストッパーに合わせてセットしてください。方向を間違えますと、金型が破損し、破片により重傷を負う危険があります。甚だしい場合には死に至る危険があります。

⚠ 危険

パンチ・ダイおよび金型の交換の際は、プレス内での作業は絶対に行わないでください。これを守らないと死または重傷となる事故を招きます。交換等の作業は必ずプレスから外して行なってください。